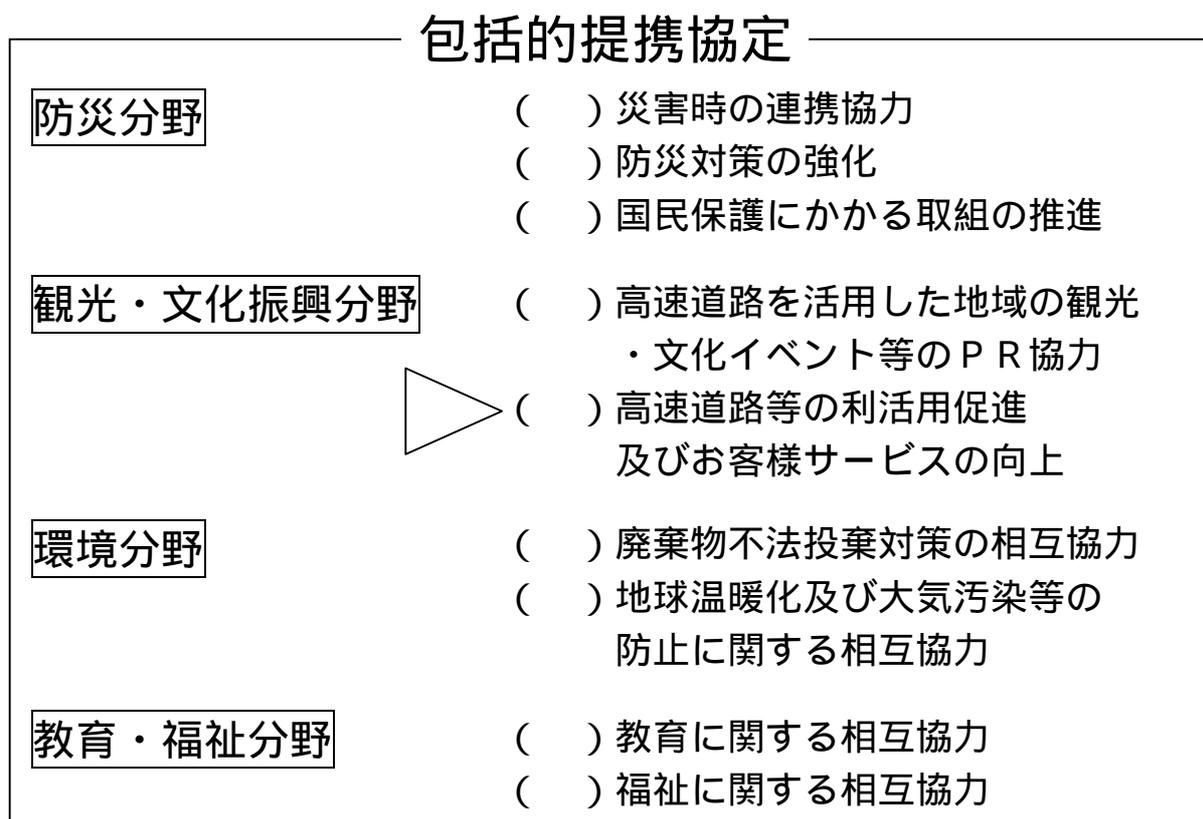


静岡県と中日本高速道路株式会社との包括的提携協定 想定される取組事例について

平成 21 年 3 月 23 日
静 岡 県
中日本高速道路(株)

- 1 静岡県（以下「県」という。）と中日本高速道路株式会社（以下「NEXCO中日本」という。）との「包括的提携協定」の目的
相互の連携を強化し、双方の資源を有効に活用することにより、県内の観光・産業振興と地域社会の活性化に資すること。
高速道路、サービスエリア（以下「SA」という。）・パーキングエリア（以下「PA」という。）におけるより質の高いサービスの提供と高速道路等利用者の利便の向上、利用の拡大に資すること。
- 2 包括的提携協定に基づき、今後取り組むことが想定される事例
現時点では、想定される取組事例は以下のとおり
今後においても、新たな案件の発掘及び取組案件の推進のため、定期的に調整の場を設ける。
- 3 想定される取組事例の体系図



1 防災分野での相互協力

() 災害時の連携協力

緊急車両等の通行

- ・被災地の支援を速やかに行うため、高速道路（建設中区間を含む）における消防・医療関係機関、緊急物資搬送等の緊急車両の通行確保に努める。

新東名の工事中区間の大規模災害時における供用については、県、NEXCO 中日本双方にて協定締結済み（「大規模災害時における第二東海自動車道横浜名古屋線の工事中区間の使用に関する基本協定」2004年8月23日締結 静岡県知事 日本道路公団静岡建設局長（2005年10月1日NEXCO中日本に承継））。

休憩施設の防災拠点としての活用

- ・S Aの駐車場等を、救助活動・消火活動等のための進出拠点として活用を図る。

東名高速道路の足柄S A（下り線）及び浜名湖S A（上り線）については、「東海地震応急対策活動要領に基づく具体的な活動内容に関する計画」（2004年6月：中央防災会議幹事会）において進出拠点に指定されている。また、施設内の使用等に関し、県、中日本エクシス株式会社^(注1)双方にて協定締結済み（「大規模災害時等における足柄サービスエリア（下り）及び浜名湖サービスエリア（上り）内施設の使用に関する基本協定」2008年4月9日 静岡県知事 中日本エクシス株式会社代表取締役社長）。

(注1) 中日本エクシス株式会社

S A・P Aの運営を行うNEXCO中日本のグループ会社

応急復旧等の相互協力

- ・道路土工部や構造物の異常、損傷等の調査、復旧に対する技術的支援。
- ・応急復旧工事等に必要となる資機材等の提供。

() 防災対策の強化

- ・新東名を考慮したダブルネットワークによる防災体制を構築する。
- ・県主催の防災訓練にNEXCO中日本が参加し、高速道路を活用した災害時の救援体制の強化を図る。

() 国民保護にかかる取組の推進

- ・県主催の国民保護訓練にNEXCO中日本が参加し、高速道路を活用した国民保護体制の強化を図る。

2 観光・文化振興分野での相互協力

- () 高速道路等を活用した地域の観光・文化イベント等のPR協力
 - ・SA、PAにおいて、県内の観光ポスターの掲出や観光パンフレットの配布を行う。
 - ・SA、PAの情報ビジョンにより、県内の観光情報等を発信する。
 - ・NEXC O中日本が発行する情報誌において、県内の観光情報等を掲載する。
 - ・NEXC O中日本が主催するイベントにおいて、県の文化イベントや県内観光等のPRを実施する。

- () 高速道路等の利活用促進及びお客様サービスの向上
 - ・県の関連施設において高速道路の情報やNEXC O中日本の事業PR等を行う。
 - ・県が発行する情報誌において、高速道路の利活用促進PR等を掲載する。
 - ・県が主催するイベントにNEXC O中日本が参加し、高速道路の利活用促進PR等を実施する。
 - ・高速道路料金引き下げを活用し、観光振興と高速道路利用促進に相乗効果を生む取組を行う。

トピック1：「東名全通40周年企画」^(注2)に関する相互協力

1)「東名全通40周年」イベントの相互協力

- ・NEXC O中日本が主催する「東名全通40周年」イベントに、富士山静岡空港や国民文化祭等のPRのため県が出展協力し、双方のイベント効果を高める。

(注2) 東名全通40周年企画

東名高速道路は、1969年(昭和44年)5月26日に大井松田IC～御殿場ICの開通をもって、全線(東京IC～小牧IC:347km)供用から40周年を迎える。これを記念し、NEXC O中日本では、「お客様への感謝」及び「東名の社会的役割の再認識と新東名に期待される役割を考える」、「老朽化などの日本のインフラが抱える課題を広く知っていただく」良い機会と捉え、東名のSA・PAにおいて記念イベント等を実施する予定。

トピック 2 : 「富士山静岡空港」に関する相互協力

1) 双方の施設を活用した情報発信

- ・ S A、 P Aにおいて、富士山静岡空港に関するポスターの掲出や、情報ビジョンを活用した空港情報の発信を行う。
- ・ 富士山静岡空港旅客ターミナルビル内において、高速道路事業に関するパンフレット等の配布を行う。

2) 空港と高速道路の利用促進に向けたイベントの相互協力

- ・ 双方のイベントに出展する等、連携し空港と高速道路の利用促進や事業 P Rを実施する。

3) 空港、高速道路の利便性向上のための情報提供

- ・ 空港及び高速道路双方を利用するお客様の利便性を向上させるため、相互の施設で、空港駐車場の情報や高速道路の交通情報を提供する。

トピック 3 : 「第 24 回国民文化祭・しずおか 2009」に関する相互協力

1) 双方の施設を活用した情報発信

- ・ S A、 P Aにおいて国民文化祭のポスターを掲出するとともに、パンフレットの配布を行う。

2) 双方の情報提供ツールを活用した情報発信

- ・ N E X C O 中日本が作成する冊子等に国民文化祭の情報を掲出する。
- ・ 国民文化祭 P R 冊子に、N E X C O 中日本の事業情報を掲出する。

3 環境分野での相互協力

() 廃棄物不法投棄対策の相互協力

- ・ 廃棄物不法投棄の情報を相互に提供し合い、不法投棄の早期発見、早期対応に努める。
- ・ 高速道路のインターチェンジや S A、 P A で、双方が協力し、廃棄物運搬車への啓発活動を実施する。

() 地球温暖化及び大気汚染等の防止に関する相互協力

- ・ アイドリングストップに関する啓発活動を、双方が協力し実施する。

4 教育・福祉分野での相互協力

() 教育に関する相互協力

- ・ N E X C O 中日本が実施する「高速道路交通安全セミナー」や県が開催する講習会等に、相互に講師の派遣を行うなど、県民の交通安全教育の充実に努める。
- ・ N E X C O 中日本が企画する高速道路見学ツアー等において、県の自然ふれあい施設を活用し、地域の環境保全等の取組みを紹介する。
- ・ 県が実施するインターンシップ事業（高校生等を対象）の受け入れ先として、N E X C O 中日本の事業所や新東名等の建設現場を活用する。

() 福祉に関する相互協力

- ・ 県が発行する情報誌等において、高速道路料金の障害者割引や S A、P A のバリアフリー化事業等を掲載し周知を図る。